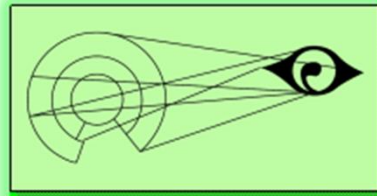


《 説明 》

共同研究について



期日 令和7年(2025年)8月28日(木)

場所 だて歴史の杜カルチャーセンター

北海道教育研究所連盟共同研究推進委員会

内容

- 1 北海道教育研究所連盟(道研連)
共同研究について
- 2 第18次共同研究の概要について
- 3 第18次共同研究3年次の取組について

Ⅰ 北海道教育研究所連盟（道研連） 共同研究について

2

Ⅰ 北海道教育研究所連盟（道研連）共同研究について

道研連共同研究とは

- 昭和44年に第1次共同研究が開始
- 道研連に加盟する加盟機関の所員等
によって構成

共同研究推進委員（12名）が推進

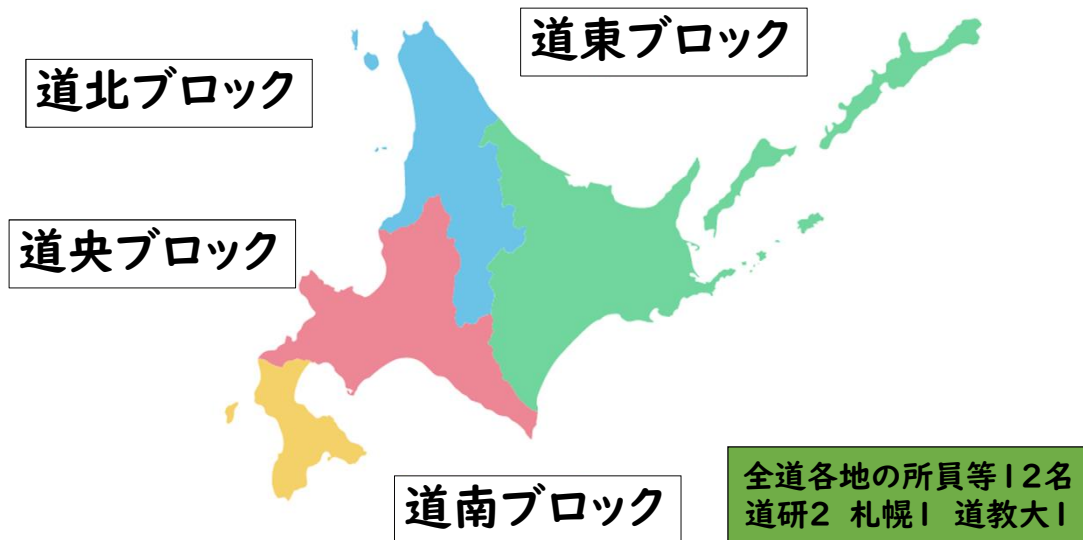


全ての加盟機関が対象

3

Ⅰ 北海道教育研究所連盟（道研連）共同研究について

共同研究推進委員の選出(H27～)



4

Ⅰ 北海道教育研究所連盟（道研連）共同研究について

令和7年度の共同研究推進委員

○石狩教育研修センター	湯	川	唯	人
○空知教育センター	寺	田		恵
○檜山教育研究所	安	田	善	紀
○胆振教育研究所	黒	川	知	恵
○十勝教育研究所	中	村	俊	太
○上川教育研修センター	相	澤	正	一
○留萌管内教育研究所	佐	治	麻里子	
○根室教育研究所	熊	谷	恒	平
○札幌市教育センター	横	内	のぞみ	
○北海道教育大学へき地・ 小規模校教育研究センター	芳	賀		均

●北海道立教育研究所から2名

2 第18次共同研究の概要について

6

2 第18次共同研究の概要について

子供たちに育むべき資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

【ポイント】

- ✓ これらの資質・能力を育むためには、**新学習指導要領の着実な実施**が重要
- ✓ これからの学校教育を支える基盤的なツールとして、**ICTの活用**が必要不可欠

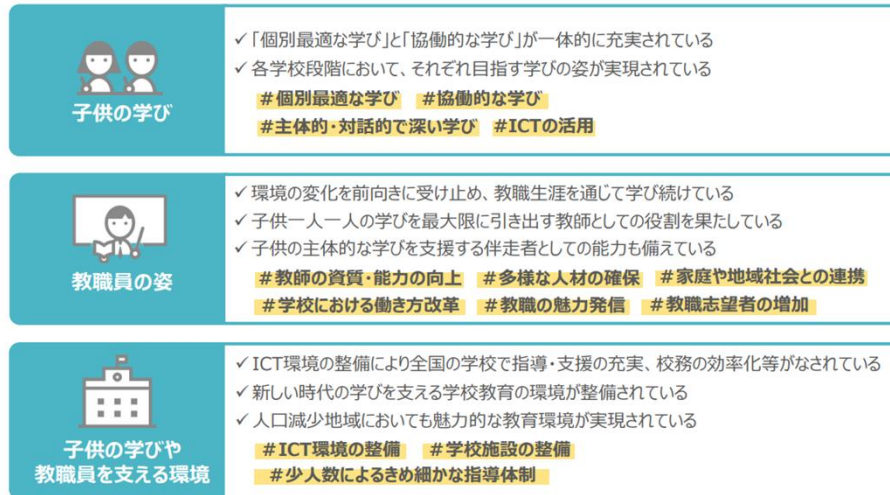
全ての子どもたちの可能性を引き出す
個別最適な学びと、協働的な学び

出典：「『令和の日本型学校教育』の構築を 目指して（答申）」【総論解説】 令和3年 中央教育審議会

2 第18次共同研究の概要について

2020年代を通じて実現を目指す学校教育
「令和の日本型学校教育」の姿

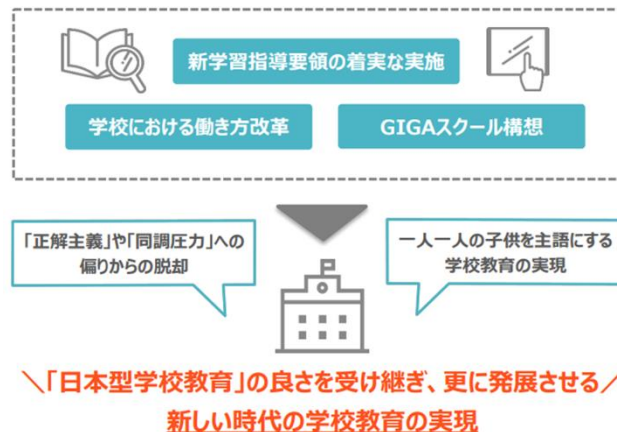
＼全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現／



出典：「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」【総論解説】 令和3年 中央教育審議会

2 第18次共同研究の概要について

第18次共同研究テーマ



一人一人の子どもを主語にする
学校教育の実現に向けて

2 第18次共同研究の概要について

一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現に向けて

【ねらい】

各教育研究所・研修センターがより連携・協働できる体制を整備し、学校支援のために活用する、個別最適な学びと協働的な学びの実践事例の収集・提供をすることにより、**子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての教職員の能力の向上に資する。**

【研究内容1】

全ての子どもたちの可能性を引き出す

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

【研究内容2】

子どもの成長を支える連携・協働体制の構築

道研連加盟機関である各教育研究所・研修センターの

北海道教育研究所連盟第18次共同研究（令和5年度～令和7年度）推進計画

一人一人の子どもを主語にする 学校教育の実現に向けて

子どもの主体的な学びを
支援する伴走者として

研究内容1 全ての子どもたちの可能性を引き出す
「個別最適な学び」と「協働的な学び」

研究内容2 子どもの成長を支える連携・協働体制の構築

【1年次のゴール】

- 収集した実践事例(授業のイメージ)の共有

R5

集める

【1年次のゴール】

- 連携・協働の在り方について共有

R5

【2年次のゴール】

- 1年次に収集した事例の評価・改善・実践

R6

磨く

【2年次のゴール】

- 複数の加盟機関が連携・協働した事業の実践・交流
(道研連研究発表大会等)

R6

第1回 1、2年次の研究内容・
収集した実践事例(授業のイメージ)の共有

授業の実践①

第2回 実践事例の協議・リーフレット(案)の検討

授業の実践②

第3回 実践事例の交流・リーフレット(案)の完成

「個別最適な学び」と
「協働的な学び」を実現
する授業の実践事例のよ
さを共有し、活用及び普
及に向けた協議を通して、
「授業のポイント」が伝
わる実践事例及び普及啓
発資料を作成する。

【3年次のゴール】

- 実践事例の普及・還元
(道研連Webページの掲載・リーフレット等配付)

R7

広める

第1回 連携・協働した事業の計画

第2回 実施方法の検討→事業の実践

連携・協働した事業の実践交流
持続可能な連携・協働体制の検討

第3回 事業の実践

連携・協働した事業の実践交流
好事例のまとめ

各教育研究所・研修セン
ターの連携・協働の在り方
を計画・実施し、実践の成
果や課題を協議する。また、
持続可能な連携・協働の在
り方を検討する。

ICTの効果的な活用

【3年次のゴール】

- 持続可能な連携・協働体制の構築に向けた改善・普及

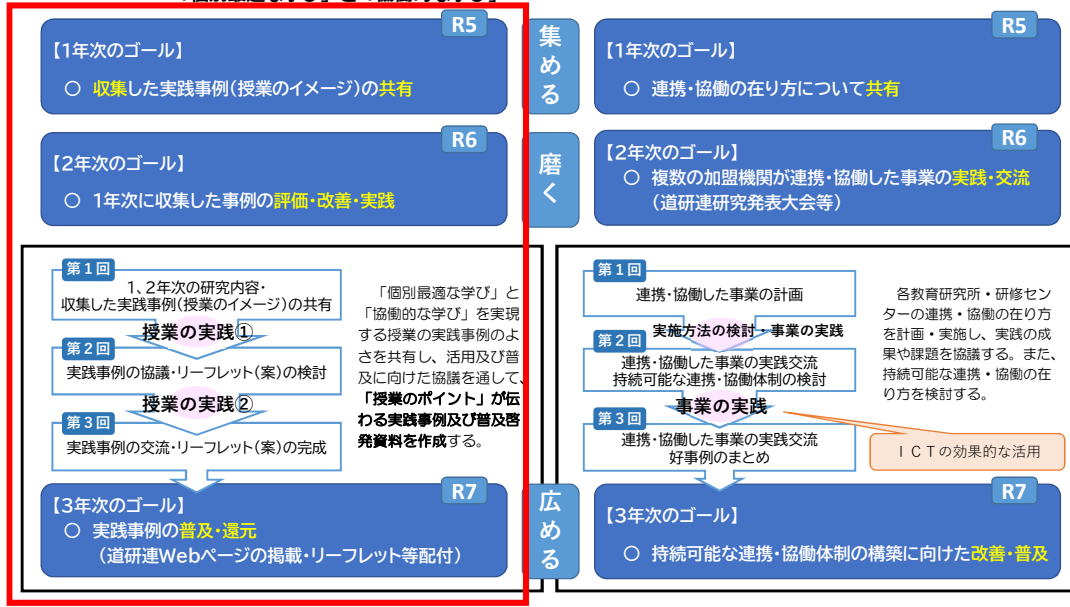
R7

一人一人の子どもを主語にする 学校教育の実現に向けて

子どもの主体的な学びを
支援する伴走者として

研究内容1 全ての子どもたちの可能性を引き出す
「個別最適な学び」と「協働的な学び」

研究内容2 子どもの成長を支える連携・協働体制の構築

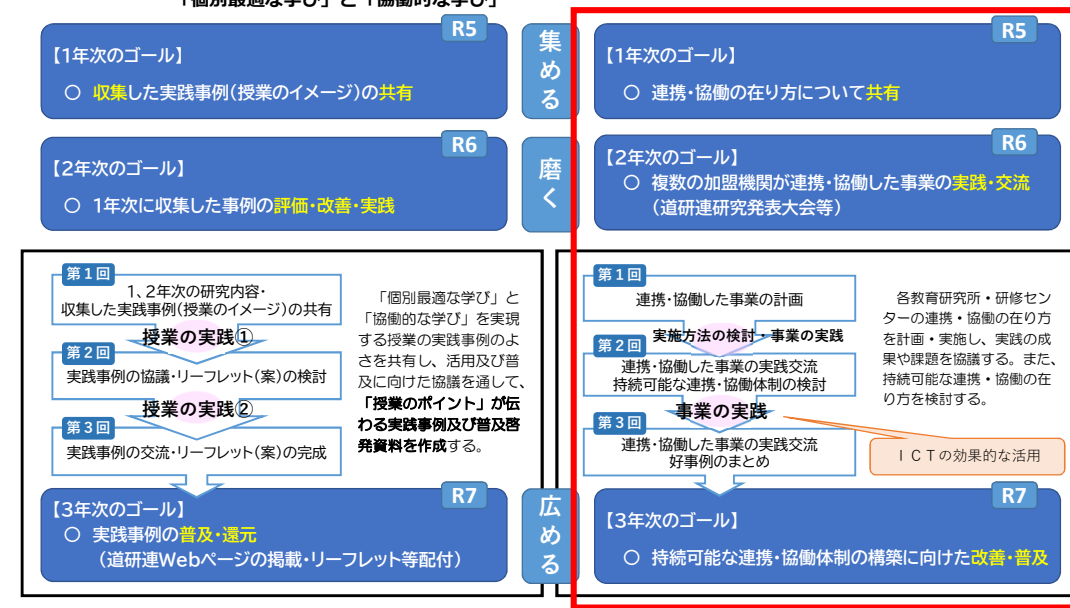


一人一人の子どもを主語にする 学校教育の実現に向けて

子どもの主体的な学びを
支援する伴走者として

研究内容1 全ての子どもたちの可能性を引き出す
「個別最適な学び」と「協働的な学び」

研究内容2 子どもの成長を支える連携・協働体制の構築

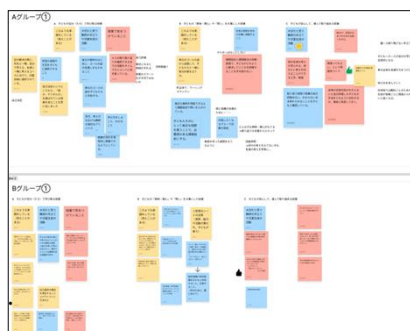


3 第18次共同研究3年次の取組について

16

3 第18次共同研究3年次の取組について

第1回共同研究推進委員会
(5月13日 北海道立教育研究所)



クラウドサービスを用いた協議シート

3 第18次共同研究3年次の取組について

【道研連夏季所員学習会】7月11日(金)開催

1	目的	教育研究所・センター所員等の現状について交流を行い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業について理解を深めるとともに、研修したことを域内の学校に広げるための研修等に役立てる。																																													
2	日時	令和7年7月11日(金) 11:00～15:35																																													
3	会場(ハイブリッド開催)	・集合：北広島市立東部小学校(北広島市中央4丁目4番地) ・遠隔：各勤務校等																																													
4	対象	道研連加盟機関の所員、研究員及び教育関係者等																																													
5	日程	<table border="1"> <thead> <tr> <th>10:30</th><th>11:00</th><th>11:15</th><th>11:20</th><th>12:05</th><th>12:45</th><th>13:05</th><th>13:20</th><th>14:10</th><th>14:20</th><th>15:30</th><th>15:35</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【集合】</td><td>受付</td><td></td><td></td><td></td><td>昼食・休憩</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>【遠隔】</td><td>(午前からの参加) 接続受付</td><td>開会</td><td>移動</td><td>授業公開</td><td>(午後からの参加) 接続受付</td><td>振り返り①</td><td>講話</td><td>休憩</td><td>交流・協議[40] まとめ[10] 振り返り②[20]</td><td></td><td>閉会</td></tr> </tbody> </table>										10:30	11:00	11:15	11:20	12:05	12:45	13:05	13:20	14:10	14:20	15:30	15:35	【集合】	受付				昼食・休憩							【遠隔】	(午前からの参加) 接続受付	開会	移動	授業公開	(午後からの参加) 接続受付	振り返り①	講話	休憩	交流・協議[40] まとめ[10] 振り返り②[20]		閉会
10:30	11:00	11:15	11:20	12:05	12:45	13:05	13:20	14:10	14:20	15:30	15:35																																				
【集合】	受付				昼食・休憩																																										
【遠隔】	(午前からの参加) 接続受付	開会	移動	授業公開	(午後からの参加) 接続受付	振り返り①	講話	休憩	交流・協議[40] まとめ[10] 振り返り②[20]		閉会																																				
6	内容	(1) 講話 ・テーマ 資質・能力の育成に向けた国語科の授業づくり ～全国学力・学習状況調査を踏まえた学習指導の改善・充実～ ・講師 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部学力調査官(併)教育課程調査官 平山道大氏 (2) 授業公開 ・学年(教科) 第3学年(国語科) ・授業者 教諭 佐々木 捷人氏																																													

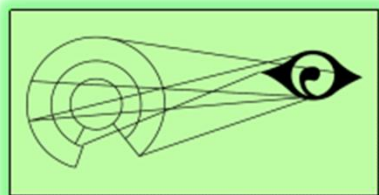
3 第18次共同研究3年次の取組について

年間スケジュール

5月13日(火)	【第1回 共同研究推進委員会】※集合開催
6～10月	・実践事例の作成 ・連携・協働した事業の実践及び第2回共同研究推進委員会の交流に係る説明準備
7月11日(金)	夏季所員学習会
8月28日(木) 8月29日(金)	【第80回北海道教育研究所連盟研究発表大会(胆振大会)】 ・研究発表
10月21日(火)	【第2回 共同研究推進委員会】※オンライン ・実践事例の協議・リーフレット(案)の検討 ・連携・協働した事業の実践交流、持続可能な連携・協働体制の検討
10月～12月	・実践事例の完成
11月17日(月)	冬季所員学習会
1月9日(金)	【第3回 共同研究推進委員会】※オンライン ・実践事例の交流・リーフレット(案)の完成 ・連携・協働した事業の実践交流、好事例のまとめ ・第19次共同研究に向けて
2月5日(水)	【連盟委員会】R7事業報告 R8事業計画提案

《 説明 》

共同研究について



期日 令和7年(2025年)8月28日(木)

場所 だて歴史の杜カルチャーセンター

北海道教育研究所連盟共同研究推進委員会